

# 縄南中通信



平成26年 4月 8日 発行

2014年度 第1号

**「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」**

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

## 「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

### 「縄南道」が目ざす日本一、2014年は「人格形成」進化の年

2014年度がスタートしました。縄手南中学校は「縄南道」と呼ぶ「人格形成」に意識を高く持ち、日本一を目ざすことに今年も変わりありません。しかしながら、昨年度と同じでは進化がありませんので、日本一への挑戦として、昨年度、やればできるはずのことができていなかった項目をチェックし修正する必要があります。意識を高く持ち、行動を変え、習慣を変えることが結果の改革を生みます。縄手南中学校の持つ「空気」を意識高いものに創り上げましょう。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」というモットーの中で、最も難しいことは「ダッシュ！」であると以前に伝えました。「返事！」「あいさつ！」「声！」は一瞬の時間で完成させることができますが、「ダッシュ！」は少なくとも数秒以上の継続が必要だからです。与えられたチャンスに、与えられた課題に対して「はい」と返事をし、全力疾走で行動するということを、もう一度高く意識を持ち実行してください。「はい」と返事をするのも中途半端にするのではなく、きちっと全力で行わなければなりません。よくダッシュを駆け足と勘違いしている人がいます。「ダッシュ！」は全力です。「ダッシュ！」と駆け足は全く違うものですから知っておきましょう。また、「ダッシュ！」は「きびきび」とした行動と認識してください。授業1分前の予鈴を鳴らしているのも、この時間になればきびきびと行動しなくては次の準備が間に合わないということを意味します。予鈴や予告を知ってもきびきびと行動できないのは間違いなく「敗因」です。「敗因」の行動の特徴的なものはだらだと足をひきずって歩いている姿です。日本一の「空気」にはふさわしくありません。集団がきびきびとした行動をとれることの大切さは、現2年生が2月のスキー林間で大雪の中を移動した際にも実感しました。あの時、きびきびと素早く行動できたことが大きな混乱を防ぐことのできる結果ともなりました。掃除や整理整頓をするのも同じです。「ダッシュ！」を意識した行動のもと掃除をすれば、短い時間で綺麗になりますが、だらだらとやればいつまでたっても綺麗にはなりません。だらだらとした掃除には無駄なしゃべりも伴いますので、昨年できなかった「もくもくと掃除をする」ということも意識してください。だらだらとグラウンド整備をするチームが勝てるはずかないのは、少し考えれば当然理解できることでしょう。きちんとした言葉づかいができることもそうです。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」がつくる「空気」には、きちんとした言葉づかいも伴います。日本一をめざしているのに、いい加減な、なあなあという言葉づかいはありえないことも考えれば当たり前として理解できることです。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を実行する中、特に「ダッシュ！」に対する意識に伴う行動、とりわけ時間に対して、掃除・整理整頓に対して、言葉づかいに対して意識レベルを高めるとともに、行動・習慣となるよう実行しましょう。もう一つは「感謝」です。目に見えるところだけでなく、今おかれている状況をしっかりと考えると、目には

見えないところで、知らないところで多くの方々の動きがわかるはずです。「感謝」の気持ちを持ち、それに応えるには「有難うございます」という気持ちです。そしてできることは「全力での行動」です。卒業式や入学式では「全身全霊」と伝えました。これは昨年度のスタートに、シドニーオリンピック女子ソフトボール銀メダリストの田本博子さんから、実際の言葉で学んだことです。ジャパンコーチングシステムのバスケットボールコーチ丸山健治先生は、レギュラーでない選手への思いを伝えていただきました。多くの方々が、実際に縄手南中学校に来て、君たちの目の前で実際の言葉で伝えていただいていることですから、意識を高く持って、来てくださった方々のお話から学べることは行動として実行しましょう。勝つ時には必ず「勝因」があり、負ける時には必ず「敗因」があります。自らのこの1年間の挑戦には失敗も遠回りもあるでしょうが、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」を実行し、「勝因」として前進していき、1年後の縄手南中学校にある「縄南道」が創り出す「空気」は、今よりも進化したものとして存在していることを目指してください。

### 先生方の異動のお知らせ

縄手南中学校を去られた先生

奥田恭一先生（数学・玉川中へ）、	相木文子先生（保健体育・金岡中へ）
山下希実子先生（理科・盾津東中へ）、	牧野真由美先生（音楽・盾津東中へ）
佐伯紀和先生（美術・玉川中へ）、	白江沙世子先生（社会・松原市へ）、
宮城隆資先生（技術）、伊藤崇先生（事務室）、	西村泰一郎さん（校務員室・八尾市へ）
川上綾子先生（スクールカウンセラー・長瀬中へ）、	
長井久美子先生（支援学級スクールヘルパー・池島中へ）	

縄手南中学校に来られた先生

黒崎邦宏先生（技術・花園中より）、	光岡洋先生（美術・盾津中より）
松原知絵先生（保健体育・金岡中より）、	河谷達仁先生（英語・長栄中より）
入口真奈美先生（英語・意岐部中より）、	谷岡佐和子先生（音楽・東住吉総合高より）
重松志保先生（保健体育）	松浦慧先生（社会・盾津中より）
太平裕子先生（事務室・花園中より）、	竹村薫さん（校務員室・八尾市より）
大溝睦代先生（スクールカウンセラー）、	谷文子先生（支援学級スクールヘルパー）

### 縄手南中学校アドバイザー紹介

日本一を目指す縄手南中学校の教育活動の特徴として、様々な側面から支援・指導いただけるスタッフの先生方をお招きしています。本校ではアドバイザースタッフとして授業やクラブ活動、委員会活動、生活指導等に助言いただいています。

澤井幸男先生（元大阪府警警察官、本校学校協議会委員）、  
乾龍介先生（元朝日放送アナウンサー、本校学校協議会委員）  
岸本恵一先生（大阪産業大学アメリカンフットボール部アスレチックトレーナー）  
竹中淳子先生（元ラジオ大阪制作スタッフ）、旭堂南青先生（講師）  
吉田誠先生（奈良教育大学教職大学院教授）、中務充起代先生（元東大阪市小学校校長）

### クラブ等の主な記録

バドミントン

第22回東大阪市中学校総合体育大会 1年男子ダブルスの部 3位 横山和南(現2年)  
第7回東大阪市オープンバドミントン大会 2014 2年男子 優勝 阪上義貴(現3年)  
平成25年度第3回日本漢字検定5級 全問正解 角川莉緒(現2年)

エコキャップ推進委員会

東大阪市立縄手南中学校 受領個数 20,253 個(累計 35,733 個、ワクチン 42.9 人分)